



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場取引所 東大

上場会社名 ダイワボウホールディングス株式会社
コード番号 3107 URL <http://www.daiwabo-holdings.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阪口 政明

問合せ先責任者 (役職名) 財務IR室長 (氏名) 梅澤 覚

TEL 06-6281-2404

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	112,410	3.4	481	△71.1	351	△78.7	△88	—
24年3月期第1四半期	108,674	10.0	1,663	209.5	1,646	288.0	1,247	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △295百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 1,203百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△0.46	—
24年3月期第1四半期	6.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	212,921	40,681	18.9
24年3月期	231,512	42,426	18.1

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 40,219百万円 24年3月期 41,978百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	235,000	2.0	1,800	△46.1	1,200	△60.9	400	△79.3	2.12
通期	500,000	2.1	6,400	△9.5	5,500	△10.2	2,400	△28.3	12.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信[添付資料]3ページ「2. (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	192,712,926 株	24年3月期	192,712,926 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	5,098,643 株	24年3月期	438,467 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	191,256,197 株	24年3月期1Q	182,768,378 株

(注) 期末自己株式数には、従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式を含んでおります。
(25年3月期1Q 4,910,000株 24年3月期 一 株)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、1株当たり当期純利益は、自己株式数の変動に伴い変更しております。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]2ページ「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災からの復興需要や政策効果により堅調に推移する個人消費などの内需が牽引し景気は緩やかながら回復しつつありますが、欧州債務危機の深刻化による海外経済の減速や長期化する円高、夏場の電力供給不安など景気の下振れリスクが存在し、依然として先行きが不透明な厳しい状況にあります。

このような環境のなか、当社グループは本年4月から始動した中期経営計画「イノベーション21」のもと、「新市場・新事業の創出」「グローバル戦略の推進」「コーポレートブランドの強化」を基本方針として、連結企業価値の向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は112,410百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益は481百万円（前年同期比71.1%減）、経常利益は351百万円（前年同期比78.7%減）、四半期純損失は88百万円（前年同期は1,247百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ITインフラ流通事業)

法人向け市場では、企業のIT投資に一部回復の兆しがみられるなか、地域密着の営業活動の推進による受注拡大に努め、首都圏を中心に売上が増加しました。一方、個人向け市場においては、専門店・量販店向けは地上デジタルテレビや関連製品の需要の反動と、パソコンの平均単価の下落により厳しい結果となりましたが、タブレット型パソコンやウルトラブックなど新たなカテゴリーのパソコンの拡販に注力しWeb販売事業者向けは堅調に推移しました。以上の結果、当事業の売上高は95,544百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益は453百万円（前年同期比60.6%減）となりました。

(化繊・機能資材事業)

機能製品部門では重布関連商品や工業繊維などの受注が拡大しましたが、合繊部門では天候不順の影響から衛生材用途の不織布製品の販売が低迷し、レーヨン部門でも不織布用原綿の販売不振に加えて原燃料価格の上昇が影響し収益が低下しました。以上の結果、当事業の売上高は8,910百万円（前年同期比5.2%減）、営業利益は226百万円（前年同期比33.2%減）となりました。

(衣料品・生活資材事業)

製品部門では対米向けトランクスの販売に一部回復の兆しがみられましたが、衣料向けの受注は低迷しました。また、海外紡績部門では需要回復の遅れから収益の改善には至りませんでした。以上の結果、当事業の売上高は4,625百万円（前年同期比10.0%減）、営業損失は161百万円（前年同期は8百万円の営業利益）となりました。

(工作・自動機械事業)

工作機械部門では、主力の立旋盤について、国内においては航空機、建設機械分野を中心に拡販活動に努め、海外においては販売力強化やサービス向上を図りましたが、国内外メーカーとの価格競争激化により収益は低迷しました。自動機械部門では、新たな営業所の開設による地域に密着した営業展開と積極的な見本市への出展などにより新規需要の開拓を推し進めました。以上の結果、当事業の売上高は2,039百万円（前年同期比26.5%減）、営業利益は6百万円（前年同期比97.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少等により前連結会計年度末に比べて18,590百万円減少し212,921百万円となりました。また、負債は支払手形及び買掛金の減少等により前連結会計年度末に比べて16,845百万円減少し172,239百万円となり、純資産は利益剰余金の減少および自己株式の増加等により前連結会計年度末に比べて1,745百万円減少し40,681百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月9日に公表しました平成25年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想から変更をしておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,681	13,055
受取手形及び売掛金	113,951	94,554
商品及び製品	25,194	25,182
仕掛品	2,834	2,933
原材料及び貯蔵品	1,696	1,616
その他	12,093	10,349
貸倒引当金	△333	△315
流動資産合計	165,118	147,375
固定資産		
有形固定資産		
土地	26,011	26,037
その他(純額)	18,827	18,747
有形固定資産合計	44,838	44,784
無形固定資産		
のれん	10,303	9,945
その他	1,147	1,162
無形固定資産合計	11,451	11,108
投資その他の資産		
その他	10,786	10,344
貸倒引当金	△683	△691
投資その他の資産合計	10,103	9,653
固定資産合計	66,393	65,546
資産合計	231,512	212,921

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	108,329	93,456
短期借入金	16,462	16,036
未払法人税等	2,814	111
賞与引当金	2,388	1,211
その他の引当金	201	136
その他	7,869	9,423
流動負債合計	138,066	120,374
固定負債		
長期借入金	37,630	38,410
退職給付引当金	5,508	5,664
その他の引当金	71	72
その他	7,807	7,717
固定負債合計	51,018	51,864
負債合計	189,085	172,239
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,696	21,696
資本剰余金	7,889	7,887
利益剰余金	15,751	14,883
自己株式	△85	△756
株主資本合計	45,251	43,711
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△408	△752
繰延ヘッジ損益	12	3
為替換算調整勘定	△2,876	△2,742
その他の包括利益累計額合計	△3,272	△3,492
少数株主持分	448	462
純資産合計	42,426	40,681
負債純資産合計	231,512	212,921

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	108,674	112,410
売上原価	97,438	102,259
売上総利益	11,235	10,151
販売費及び一般管理費	9,572	9,670
営業利益	1,663	481
営業外収益		
受取利息	10	7
受取配当金	80	67
販売支援金	25	49
持分法による投資利益	50	8
その他	131	77
営業外収益合計	298	211
営業外費用		
支払利息	222	213
その他	92	128
営業外費用合計	315	341
経常利益	1,646	351
特別利益		
受取保険金	506	—
特別利益合計	506	—
特別損失		
投資有価証券評価損	2	27
特別退職金	1	21
災害による損失	6	—
その他	5	0
特別損失合計	15	49
税金等調整前四半期純利益	2,136	302
法人税、住民税及び事業税	361	23
法人税等調整額	491	367
法人税等合計	853	391
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,283	△89
少数株主利益又は少数株主損失(△)	35	△0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,247	△88

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,283	△89
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△161	△345
繰延ヘッジ損益	△6	△9
為替換算調整勘定	73	131
持分法適用会社に対する持分相当額	13	15
その他の包括利益合計	△80	△206
四半期包括利益	1,203	△295
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,158	△308
少数株主に係る四半期包括利益	44	12

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ITイン フラ流通 事業	化合繊・ 機能資材 事業	衣料品・ 生活資材 事業	工作・ 自動機械 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	89,982	9,399	5,140	2,773	107,295	1,378	108,674	—	108,674
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	32	66	57	—	155	129	284	△284	—
計	90,014	9,466	5,197	2,773	107,451	1,507	108,958	△284	108,674
セグメント利益 又は損失(△)	1,151	338	8	217	1,716	△57	1,658	4	1,663

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気機器の組立・製造・販売業、ゴム製品製造販売業、ホテル業、ゴルフ場業、不動産業、保険代理店業及びエンジニアリング業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ITイン フラ流通 事業	化合繊・ 機能資材 事業	衣料品・ 生活資材 事業	工作・ 自動機械 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	95,544	8,910	4,625	2,039	111,120	1,290	112,410	—	112,410
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	55	68	7	—	130	223	354	△354	—
計	95,600	8,978	4,633	2,039	111,251	1,513	112,765	△354	112,410
セグメント利益 又は損失(△)	453	226	△161	6	524	△57	467	14	481

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気機器の組立・製造・販売業、ゴム製品製造販売業、ホテル業、ゴルフ場業、不動産業、保険代理店業及びエンジニアリング業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。